

## 第41回議会報告会「市民と議会との合同研修会」実施

### ●テーマ「議会」と「議員」は市民にとってどんな存在か

令和5年1月29日(日)スギ薬局知立福祉アリーナにて第41回議会報告会を、法政大学土山教授を講師に迎え、市民参加による合同研修として開催しました。市民の方には会場参加に加え、オンラインでの参加もいただき多くの方々幅広い議論と意見交換ができました。

#### 議員定数と報酬について

- ・議員定数、報酬の問題の本質は、議会と議員の価値に対する理解の問題であり、また、その理解を支える実績と周知の問題とも言える。
- ・適正な議員定数については、地域の多様性に対応でき様々な地域課題や意見を集約し、政策に反映しうる人数。
- ・平成の市町村合併により議員定数は大きく削減されたが、その後も減少し続けている。議員数の適正規模をどのように設定するかは課題。

#### 「政策議会」とは何か。〈政策・制度を議会が制御すること〉

- ・自治体の政策や制度が、良い状態であるように信託された権限を使って行政を制御することが議会の役割でありその実績が成果。しかし、これまでの歴史の積み重ねの中で行政は間違わない、間違っただけという幻想が根付き、議会は現状その追認機関にとどまっているのでは。

#### 議会と議員への「市民理解と評価」高められているか

- ・議会や議員の、見えない努力や成果に対して十分な評価は得られない。議会として執行部の政策や制度に対していかに制御機能を果たし、実績を積んだかを可視化して周知し、市民と情報共有を図ることが必要では。
- ・わがまちの政策・制度は議会があるから、議員がいるから良い状態にあるという評価を得るには、努力や成果に対して市民の承認を得ること。

#### ■研修の中でA～Eの5グループに分かれ2つのテーマで話し合い発表を行った。

##### テーマ① 知立市議会と市民の関係がよくなるために議会・議員に言いたいこと

- Aグループ 市民生活を見つめ、地に足の着いた活動を心がけてほしい。市民との対話の場を持ってほしい。
- Bグループ 議会報告会への参加者が減少している。参加者の固定化が問題。新たな参加者を得るために、魅力ある情報発信が必要。
- Cグループ 市民生活をよくするための政策提言をしてほしい。ペーパーレスをやめてほしい。
- Dグループ 議案全てに対して質問をするくらいの問題意識を持ってほしい。市民の側をもっと向いて意見を聞いてほしい。
- Eグループ 町内会などの小さい範囲での意見も聞いてほしい。

##### テーマ② 知立市議会と市民の関係をよくするために市民に言いたいこと

- Aグループ 議会に興味をもってほしい。定数削減は本当に市民のためになるのかを考えてほしい。
- Bグループ 特に若い人に政治への関心を持ってもらいたい。
- Cグループ 議会を見に来てほしい。
- Dグループ 市政にもっと関心を持ってほしい。

